

理想的な救助隊長としてのマインド（意識）総括表（確定案）

理想的な救助隊長のマインド（意識）	理想的な救助隊長のマインド（意識）を構成する要素	心がけていきたい 態度・認知	高めていきたい ノンテクニカルスキル
<p>具体的な救助技術、知識、人材育成の支援手法を身に付けていることを前提に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 救助人材の育成と救助隊の成長に熱意を持ってかつ積極的に尽力し、 ・ 高い使命感と責任感、強いリーダーシップ、広い視野を持ち、 ・ 隊員を育成するとともに、上司を補佐（現場活動における現場指揮者への報告・連絡・打診を含む）し、 <p>いかなる状況であっても「人を救い、助け、守る」ために最善を尽くすことができる救助隊を作り上げ、救助隊長としての誇り、自信、自制心を貫くことができる。</p>	<p>①自らが、自らを律し、周りから信頼される救助隊長としての役割、救助技術、知識及び人材育成支援手法について、常に学び続けることができる。</p>	<p>○自分の内面に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高いプロ意識 ・ 自律 ・ 自らの成長 ・ 前向きで明るい姿勢 ・ 感情のコントロール ・ 冷静・平常心 ・ 人への関心 ・ 安全意識 <p>○仲間に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 信頼関係 ・ 熱意 ・ チームワーク ・ おもいやり ・ ユーモア ・ 毅然とした態度 ・ 育てる意識 ・ 相手へのリスペクト ・ Know-Why ・ パワーハラスメントを避ける態度 ・ 中長期的思考（成長を待つ姿勢） <p>○上司に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 信頼関係 ・ 相手へのリスペクト ・ 報告連絡相談（現場指揮者に対しては報告連絡打診） 	<p>○学習と成長を促すための</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己啓発力 ・ 自己探求力 ・ 自らの内発的動機付け <p>○コミュニケーションとリーダーシップ・チーム作りのための</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーション能力 ・ 傾聴力 ・ リーダーシップ ・ 指導力 ・ 科学的根拠に基づく育成支援 ・ 隊員の掌握 ・ やりがいを持たせる役割分担 ・ 表現力 <p>○客観的な態度を身につけるための</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メタ認知 ・ 情報に基づく決断・行動
	<p>②自らが、規律とパワーハラスメントの違いを理解し、隊員への指導育成行動をすることができる。</p>		
	<p>③隊員に、心理的に安全な場所を提供できる。</p>		
	<p>④隊員に、良い学習機会を提供できる。</p>		
	<p>⑤隊員の、自発的な意識（内発的動機付け）を高めることができる。</p>		
	<p>⑥隊員の、自信（自己効力感）を高めることができる。</p>		
	<p>⑦隊員の、自律性を高めることができる。</p>		
	<p>⑧上司への、補佐（現場活動における現場指揮者への報告・連絡・打診を含む）をすることができる。</p>		
	<p>⑨全隊員で、救助隊は、誰のために、何のために、どういう存在であり続けるのかを考え、その認識を共有することができる。</p>		

現場における理想的な救助隊長像総括表（確定案）

現場における理想的な救助隊長像	理想的な救助隊長像を実現するための到達目標	到達目標の詳細	有すべき専門的知識	有すべき専門的スキル	心がけていきたい 態度・認知	高めていきたい ノンテクニカルスキル
<p>救助活動現場において、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害現場の状況を分析し、救助資機材及び救助方法を適切に選択・決定し、現場指揮者による救助活動方針の決定を支援し、 ・隊員に具体的に指示下命し、活動中の隊員及び要救助者の安全を常に評価、確保し※ <p>安全・確実・迅速に要救助者を救出することができる。</p> <p>※) 確保には、指示の追加、方針や救助方法の変更などを含む</p>	<p>①災害現場の状況を的確に分析できる。</p> <p>②災害状況に応じた適切な救助資機材の選択ができる。</p> <p>③要救助者への負担が最小限となる救助方法を選択・決定し、現場指揮者による救助活動方針の決定を支援することができる。</p> <p>④現場指揮者による救助活動方針と決定した救助方法に基づき、隊員の技量や能力に応じた指示下命ができる。</p>	<p>○災害規模、要救助者数・状況、活動環境、活動スペース、消防力、危険要因等必要な情報を収集できる。</p> <p>○収集した情報から、確度の高い情報を選択することにより災害実態を的確に把握できる。</p> <p>○当該災害の特異性、適正な活動、活動危険について、冷静かつ迅速に分析・評価できる。</p> <p>○救助資機材の仕様、性能を説明できる。</p> <p>○災害状況に応じた適時・適切で安全かつ効果的な救助資機材を選択し、隊員に使用させることができる。</p> <p>○選択理由を隊員に理解させることができる（選択した救助資機材がなぜ最適であるか説明することができる）。</p> <p>○状況分析に基づき、要救助者の置かれた状況に応じて、要救助者の負担が最小限となる救助方法を選択・決定することができる。（各種救助法や救助資機材の組み合わせ、これまでの経験や災害事例を基に安全で効果的な救助方法を選択・決定する）</p> <p>○救助完了までの方針を立て、現場指揮者が安全で効果的な救助活動方針を決定できるよう、必要な進言・具申を行い、決心を支援することができる。</p> <p>○現場指揮者が決定した方針を隊員に周知徹底するとともに、他隊と共有することができる。</p> <p>○最も重要な局面には操作熟達で確実に任務を遂行できる隊員を充てるなど、最適な技量や能力を有した隊員を適材適所に配置することができる。</p> <p>○隊員の役割分担を明確にして、確立された指揮命令系統下で指示下命できる。その際、救助方法の理由や特性・留意点を隊員と共有できている。</p>	<p>○状況分析に必要な</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練での分析経験 ・災害現場での分析経験 ・災害現場での分析事例 <p>○災害特性に応じた状況分析のセオリー・知識としての</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動基準（各本部策定） ・活動マニュアル（各本部策定） <p>○救助資機材の</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸元・性能 ・性能原理・作動原理 ・訓練での使用経験 ・災害現場での使用経験 ・災害現場での使用事例 ・使用時の事故事例 <p>○救助活動方針の決定に必要な</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練での方針決定経験 ・災害現場での方針決定経験 ・災害現場での方針決定事例 <p>○災害特性に応じた救助活動方針のセオリー・知識としての</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各消防本部における指揮命令系統 ・活動基準（各本部策定） ・活動マニュアル（各本部策定） <p>○隊員の技量や能力に応じた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練での指示下命経験 ・災害現場での指示下命経験 ・災害現場での指示下命事例 <p>○災害特性に応じた</p> <ul style="list-style-type: none"> 各消防本部における指揮命令系統&組織活動の知識 <p>○安全管理マニュアル（各本部策定）</p>	<p>○災害種類の特定のための</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集機器・手段の取り扱い ・指令情報と現場状況の相違確認 <p>○現場指揮本部、他隊及び関係機関との連携調整のための</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場指揮本部と現場指揮者の位置の確認 ・他隊の活動場所、活動内容、使用資機材の把握 ・関係機関（警察、施設管理者等）の状況確認 <p>○災害実態把握後の</p> <ul style="list-style-type: none"> 特異性と活動危険の隊員への周知徹底 <p>○救助資機材の</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい取扱い ・確認呼称 ・応用的活用 <p>○要救助者の把握・推定に関する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数、所在、状態、属性等 ・人数の拡大可能性の有無 <p>○救助方法の選択・決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要救助者への負担が少なく、早期救出可能な救助方法の選択・決定 ・進入口、活動場所の選定 <p>○指揮命令</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場指揮本部への報告 ・要救助者の状況及び選択・決定した救助方法を根拠とした、現場指揮者の救助活動方針決定への進言・具申 ・要救助者の状態や活動環境の変化等に伴う活動の評価と見直しへの進言・具申 <p>○活動隊員の選任と役割指定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自隊の活動能力の把握 ・各隊員の能力及び適性の把握 <p>○決定した救助方法の確立（完成）に向けた指示下命</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迅速さ、正確さ、安全度合の確認（目視と体感） <p>○救助資機材の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救助資機材の正しい取扱い ・救助資機材の応用的活用 	<p>○状況分析のための</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷静・平常心 ・安全意識 ・的確な判断 ・迅速さ <p>○救助資機材の選択においての</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷静・平常心 <p>○救助資機材の使用、取扱方法に関する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲 ・背景・原理に関する探究心 ○新たな救助資機材の ・研究、提案、考案心 <p>○救助活動方針決定のための</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷静・平常心 ・規律 ・高い士気・高い使命感 <p>○現場指揮者に対する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迅速・的確な報告連絡打診 ・安全意識 ・相手へのリスペクト（礼節、協同、協調） <p>○指示下命にあたっての</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷静・平常心 ・規律 ・責任感 ・信念 ・高い士気 <p>○隊員の技量や能力を把握するための</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信頼 ・安全のための身構え（安全意識） 	<p>○状況分析に求められる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集力と整理力 ・広い視野と俯瞰的視野（メタ認知） ・観察力 ・洞察力（空間把握力、注意力を含む） <p>○現場管理能力としての</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップ ・リスクマネジメント（危険予知を含む） ・指揮隊の活用能力 ・現場指揮本部、他隊及び関係機関との連携調整能力 <p>○救助資機材選択のための現場状況に関する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い視野 ・情報収集力 ・想像力 ・空間把握力 <p>○救助資機材選択に関する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨機応変な判断力 ・選択の適切性に関する評価力 <p>○救助資機材の使用、取扱方法に関する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解力 ・記憶力 ・隊員への説明力 <p>○救助活動方針決定に関する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察力 ・情報分析力 ・リーダーシップ ・判断力 ・決断力 ・洞察力 ・想像力 ・理解力 <p>○現場指揮者の救助活動方針決定の支援に関する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力（わかりやすい説明） ・調整力 ・リスクマネジメント（危険予知を含む） <p>○隊員への指示下命に関する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察力 ・リーダーシップ ・判断力 ・決断力 ・洞察力 ・注意力 ・空間把握力 <p>○現場管理能力としての</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力 ・メタ認知 ・リスクマネジメント（危険予知を含む）

現場における理想的な救助隊長像総括表（確定案）

現場における理想的な救助隊長像	理想的な救助隊長像を実現するための到達目標	到達目標の詳細	有すべき専門的知識	有すべき専門的スキル	心がけていきたい 態度・認知	高めていきたい ノンテクニカルスキル
	⑤要救助者に配慮し、かつ、活動を分析・評価し、隊員の安全管理ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○要救助者に寄り添った活動（緊急度・重症度等の容態把握、安心や励ましの声かけ、救出方法の説明、プライバシー保護等を含む。）を行うことができる。 ○活動の進捗状況や活動環境の変化などを絶えず確認し、隊員の不安全状態や不安全行動に対して、適切な指摘・改善を行い、危険予測、危険排除、危険回避ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○要救助者に配慮した <ul style="list-style-type: none"> ・訓練での対応経験 ・災害現場での対応経験 ・災害現場での対応事例 ○救助活動時に必要な救急処置に関する知識 ○活動中の事故を防ぐための <ul style="list-style-type: none"> ・災害事例研究（KYT） ・安全管理マニュアル（各本部策定） 	<ul style="list-style-type: none"> ○要救助者の負担軽減のための <ul style="list-style-type: none"> ・ABC観察（容態把握） ・応急処置法（頸椎固定、止血法、体位変換等） ・声かけ ・救急隊との連携活動・情報共有 ○活動の進捗や環境変化に応じた隊員の把握のための <ul style="list-style-type: none"> ・自隊の活動能力の把握 ・隊員へのストレス、疲労度等、隊員の健康状態把握の把握 ・危険排除 	<ul style="list-style-type: none"> ○要救助者に対する <ul style="list-style-type: none"> ・おもいやり ・やさしさ ・礼節 ・熱意 ○活動する隊員に対する <ul style="list-style-type: none"> ・信頼 ・責任感 ○隊員の安全管理に対する <ul style="list-style-type: none"> ・冷静・平常心 ・安全のための身構え（安全意識） 	<ul style="list-style-type: none"> ○要救助者の負担を軽減するための <ul style="list-style-type: none"> ・接遇（声かけ・励まし） ・観察力 ・プライバシー保護 ・コミュニケーション能力（わかりやすい説明） ○隊員の安全管理のための <ul style="list-style-type: none"> ・観察力 ・リーダーシップ ・分析・評価力 ・コミュニケーション能力 ・メタ認知 ・先見力 ・想像力 ・行動力 ・透察力 ・注意力
	⑥現場指揮者に活動状況を適時適切に報告できる。	<ul style="list-style-type: none"> ○現場指揮者に活動環境、活動危険、救助方法救出の見通し、救出状況について随時報告できる。 ○要救助者の状態や活動状況に応じた必要な支援（資機材、部隊増強や現場医師（DMAT等））の要請を現場指揮者に具申できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○適時適切な報告について <ul style="list-style-type: none"> ・訓練で現場指揮者に活動状況を報告した経験 ・災害現場で現場指揮者に活動状況を報告した経験 ・災害現場で現場指揮者に活動状況を報告した事例 ○災害特性に応じた各消防本部における指揮命令系統&組織活動の知識 ○安全管理マニュアル（各本部策定）災害特性の知識 ○クロノロジーの知識 	<ul style="list-style-type: none"> ○現場指揮本部への重要情報の報告 <ul style="list-style-type: none"> ・要救助者情報の把握 ・災害拡大の可能性の評価 ・活動危険度の把握 ○救助活動の進捗状況の評価 ○自隊の活動状況、活動場所の把握 ○自隊の残存活動能力（疲労度）の評価 ○活動継続のための <ul style="list-style-type: none"> ・必要部隊等投入の具申 ・交替要員等投入時期の具申 	<ul style="list-style-type: none"> ○現場指揮者に対する <ul style="list-style-type: none"> ・報告連絡打診 ・責任感 ・規律 ・礼節 ○自隊の活動に対する <ul style="list-style-type: none"> ・高い士気 ・責任感 ・安全意識 	<ul style="list-style-type: none"> ○指揮命令系統に関する <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集力 ・観察力 ・洞察力 ・コミュニケーション能力（わかりやすい説明） ○現場管理能力としての <ul style="list-style-type: none"> ・観察力 ・状況判断力 ・リスクマネジメント（危険予知を含む） ・洞察力 ・注意力 ・状況の記録力 ・メタ認知
	⑦必要に応じ、関係機関等と適切に連携できる。	<ul style="list-style-type: none"> ○現場関係者（責任者、施設管理者等）から活動環境や活動危険などの情報を的確に聴取し、現場医師（DMAT等）、消防団、警察等関係機関の特性（組織、役割、保有資機材等リソース）を踏まえ、全体統制のなかで活動できる。 ○関係機関等との役割分担を明確にし、積極的に情報を共有することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な連携について <ul style="list-style-type: none"> ・訓練で関係機関と連携した経験 ・災害現場で関係機関と連携した経験 ・災害現場で関係機関と連携した事例 ○関係機関連携要領 ○活動マニュアル（各本部策定） 	<ul style="list-style-type: none"> ○現場指揮本部、関係機関との連携調整 <ul style="list-style-type: none"> ・現場指揮本部の位置の確認 ・関係機関（消防団、警察、DMAT等）の活動場所、活動内容、使用資機材の把握 ・関係機関（消防団、警察、DMAT等）の状況確認 	<ul style="list-style-type: none"> ○関係機関との連携に必要な <ul style="list-style-type: none"> ・信頼 ・報告連絡打診 ・礼節 ・規律 ・相手へのリスペクト（敬意、協同、協調） ・社交性 	<ul style="list-style-type: none"> ○関係機関との連携に関する <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力（わかりやすい説明） ・調整力 ・理解力 ・情報収集力 ・観察力 ・洞察力 ・行動力 ・注意力
	⑧事案後、救助活動を振り返り、今後の実災害や訓練に活かすことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○互いを尊重し、心理的安全性がある雰囲気なかで振り返りを行うことができる。 ○検討課題を見極め、隊員とともに改善策・解決策を導き出すことができる。 ○推奨事項について研究し、隊員や他隊と共有できる。 ○活動記録を事例研究資料として活用し、意見交換や導き出した答えに基づき、実効性ある訓練の企画立案・実施につなげることができる。 ○活動記録を事例研究資料として、他隊と共有することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ○消防法 ○消防組織法 ○救助省令 ○消防救助操法の基準 ○災害対策基本法 ○活動基準（各本部策定） ○関係機関連携要領 ○災害後に振り返りを行った経験 ○活動記録の確認 ○活動のクロノロジー ○安全管理マニュアル 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害後の振り返りにおける課題抽出 <ul style="list-style-type: none"> ・指令後からの現場到着までの準備状況 ・現場で記録した情報の活用 ・現場の写真や映像の確認と分析・評価 ○課題解決と改善 <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決を明確にした救助訓練企画 ・訓練実施時の災害状況の再現（現示） 	<ul style="list-style-type: none"> ○法令遵守 ○法令・基準に関する学習意欲 ○背景・原理に関する探究心 ○活動を振り返る学習意欲 ○活動を振り返る隊員に対する <ul style="list-style-type: none"> ・信頼 ・相手へのリスペクト ・冷静さ ・寛容性 ・正確性 ○より良い活動を求める探究心としての <ul style="list-style-type: none"> ・自ら考える姿勢 ・PDCAの意識 ・工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○建設的な災害後の振り返りのための <ul style="list-style-type: none"> ・心理的安全性 ・傾聴力 ・コミュニケーション能力 ・想像力 ・調整力 ・チームワーク ○振り返りを今後活かすための <ul style="list-style-type: none"> ・考察力 ・解決力 ・活用力 ・表現力 ・想像力 ・発想力 ・論理的思考 ・記憶力（記録力）

訓練指導における理想的な救助隊長像総括表（確定案）

訓練指導における理想的な救助隊長像	理想的な救助隊長像を実現するための到達目標	到達目標の詳細	有すべき専門的な知識	有すべき専門的スキル	心がけていきたい 態度・認知	高めていきたい ノンテクニカルスキル		
<p>訓練指導では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 隊員に適した訓練を企画立案し、 ・ 隊員に明確な実施理由や到達目標を示し、 ・ 訓練中の隊員の安全を常に確保し※ <p>救助活動現場において、隊長の指示下命のもと、安全・確実・迅速に行動できる隊員を育成できる。</p> <p>※) 確保には、指示の追加、訓練内容や方法の変更、中止などを含む</p>	<p>①救助活動に関する法的な知識を隊員に説明することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「消防法」第36条の2に基づく「救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令」に係る知識を説明することができる。 ○「救助活動に関する基準」第6条による資格及び第7条による任務を有し、第19条から第23条に基づき、救助活動、連携、中断等について最善な措置を講ずることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○消防法 ○消防組織法 ○救助省令 ○消防救助操法の基準 ○災害対策基本法 ○活動基準（各本部策定） ○関係機関連携要領 	/	<ul style="list-style-type: none"> ○法令遵守 ○法令・基準に関する学習意欲 ○背景・原理に関する探究心 	<ul style="list-style-type: none"> ○法令・基準に関する ・情報収集力 ・理解力 ・要点の記憶力 ・背景原理に関する洞察力 ・隊員に対する説明力 		
	<p>②訓練計画に基づき、隊員に適した訓練を企画立案できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「救助活動に関する基準」第13条から第15条による教育訓練基本計画や実施計画等に基づき、訓練を推進できる。 ○実災害に活用できる効果的な救助訓練を企画立案し、隊員が、自ら考える力や責任感を持つとともに興味心や新しい試みなどを誘発する柔軟な訓練を実施することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○訓練企画立案のための ・消防救助操法の基準 ・各種救助法 ・訓練に活かすことができる災害経験 ・訓練に活かすことができる災害事例 ・訓練に活かすことができる過去の訓練経験 ・救助資機材の諸元・性能 ○訓練に臨む隊員に関する ・心理学 ・健康管理 ○訓練指導マニュアル（各本部策定） ○安全管理マニュアル（各本部策定） 		/	<ul style="list-style-type: none"> ○基準や救助法に関する ・学習意欲（熱意、自主性・向上心・興味心） ○救助法に関する探究心 ○隊員が自ら考えることについての ・信頼 ・相手へのリスペクト ・中長期的思考 ・柔軟性 	<ul style="list-style-type: none"> ○基準や救助法に関する ・情報収集力 ・理解力 ・要点の記憶力 ・背景原理に関する洞察力 ・隊員に対する説明力 ・自己啓発力 ○企画立案に関する ・企画力 ・計画力 ・分析・評価力 ・リーダーシップ ・調整力 ○隊員が自ら考えることを促す ・傾聴力 ・提案力 	
	<p>③各隊員の技量、体力、性格に応じた明確な到達目標を設定できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○隊員個々の能力・技量（習熟度や実践能力等）を把握し、段階的にステップアップできる救助訓練を企画できる。 ○その際、当該訓練を企画した目的・到達目標を明確にし、目標達成の必要性及び達成後の理想を伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○隊員の技量等に応じた訓練や到達目標が記載された ・訓練指導マニュアル（各本部策定） ・安全管理マニュアル【各本部策定） ○自身の訓練経験 			<ul style="list-style-type: none"> ○隊員の救助業務適性を把握するための ・基礎体力トレーニングによる体力把握 ・基礎訓練の反復による習熟度把握 ・応用訓練への適応力や順応度合いの把握 	<ul style="list-style-type: none"> ○隊員の成長を期待した ・熱意 ・冷静さ（感情のコントロール） ・規律 ・おもいやり ・平等性 ○訓練目的、到達目標を達成するための ・安全意識 ・中長期的思考 	<ul style="list-style-type: none"> ○隊員の救助業務適性を把握する ・観察力 ・洞察力 ・コミュニケーション能力 ・ユーモア ○救助訓練企画に関する ・企画力 ・計画力 ・リーダーシップ ・観察力 ・調整力 ○目標達成の必要性、達成後の理想を伝える ・表現力 ・コミュニケーション能力
	<p>④災害状況に応じた救助方法（資機材や各種救助法の組み合わせ）について指導できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○救助資機材の諸元性能に精通し、説明し、基本に忠実な取扱いの手本を示すことができる。 ○各種救助法の概念と特性を理解し、手本を示すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○救助資機材の ・諸元・性能 ・性能原理・作動原理 ・訓練での使用経験 ・災害現場での使用経験 ・災害現場での使用事例 ○各種救助法の ・背景、原理、概念 ・特性 			<ul style="list-style-type: none"> ○救助資機材の ・正しい取扱い（器具愛護） ・応用的活用 ・確認呼称 ・整理整頓 ○各種救助法の ・正しい手順 ・活用方法 ・安全運用 	<ul style="list-style-type: none"> ○救助資機材の使用、取扱方法に関する ・学習意欲 ・背景・原理に関する探究心 ○各種救助法の熟練度向上に関する ・探究心 ・研究心 ・熱意 	<ul style="list-style-type: none"> ○指導において必要な ・表現力 ・コミュニケーション能力（わかりやすい説明） ・手本を示すリーダーシップ
	<p>⑤訓練時の安全管理や危険予測、危険排除について、具体的な指示、準備を行うことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○安全管理の基礎知識を備え、隊員に安全教育を実施し、安全意識を向上させることができる。 ○訓練計画時から危険要因の排除に努め、訓練実施前に改めて危険を予測し、必要な安全資機材や装備を準備するなど事前の事故防止対策を徹底できる。 ○安全管理者や安全監視員を適所に配置し警告合図や危険排除、訓練中止の指示ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○労働安全衛生関係法令 ○リスクとその低減の理論 ○ヒヤリとした災害経験 ○災害特性ごとの典型的な危険要因 ○現場活動での公務災害事例 ○訓練時の公務災害事例 ○訓練指導マニュアル（各本部策定） ○安全管理マニュアル 			<ul style="list-style-type: none"> ○訓練時における ・リスクアセスメント ・危険予知トレーニング（KYT） ○安全管理者、安全監視員の配置 ○危険排除 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全管理に関する法令遵守 ○安全管理に関する学習意欲 ○ヒューマンエラー、心理学への探究心 ○事故防止策の追求 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全管理、危険予測、危険排除に関する ・観察力 ・リーダーシップ ・メタ認知 ・分析・評価力 ・コミュニケーション能力 ・注意力 ・理解力

訓練指導における理想的な救助隊長像総括表（確定案）

訓練指導における理想的な救助隊長像	理想的な救助隊長像を実現するための到達目標	到達目標の詳細	有すべき専門的な知識	有すべき専門的スキル	心がけていきたい 態度・認知	高めていきたい ノンテクニカルスキル
	<p>⑥訓練実施後は、必ず評価、講評（褒める、認める、課題の提示等）を行い、技術の定着と練度を向上させることができる。</p>	<p>○訓練時のポイントとなる場面を振り返りながら、その行動について根拠を持って評価し、設定した到達目標の達成度合い、推奨点及び反省点について示すことができる。 ○個々の隊員の改善すべき点や強化すべき点を指摘し、具体的にどのようにすると良いか示すことができる。</p>	<p>○訓練指導マニュアル（各本部策定） ○安全管理マニュアル ○訓練のクロノロジー</p>	<p>○訓練後の振り返りでの課題抽出のための ・訓練計画書の活用 ・記録した映像の活用 ○推奨点抽出のための ・今後の災害に活用できる動き、技術、判断の評価 ・報告要領などの整理と共有</p>	<p>○より良い活動を求める ・探究心 ・自ら考える姿勢 ・PDCAの意識 ・工夫 ○隊員に対する ・信頼 ・相手へのリスペクト ・冷静さ ・寛容性 ・正確性 ・平等性 ・熱意・誠実 ・飴と鞭の使い分け ・包容力</p>	<p>○隊員の技術の定練度を向上させるために必要な ・傾聴力 ・分析・評価力 ・表現力 ・観察力 ・コミュニケーション能力 ・洞察力</p>